「令和8年度学校魅力化フォーラム」

小規模学校における
ICTの効果的な活用



垂水市公式キャラクター
「たるたる」

垂水市教育委員会

「令和8年度学校魅力化フォーラム」

学級編成
複式 ●
複式・単式 ●





新城小学校
● 3学級 14人



垂水小学校
16学級 302人



水之上小学校
● 6学級 36人



垂水中央中学校
11学級 259人



協和小学校
● 3学級 19人



柊原小学校
● 5学級 32人



牛根小学校
● 4学級 10人



松ケ崎小学校
● 3学級 6人

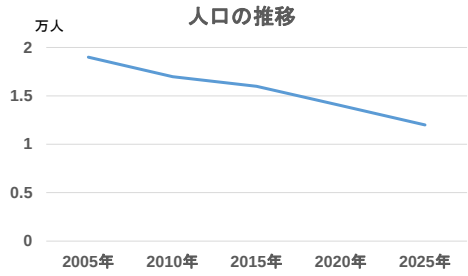
GIGA School city Tarumizu Board of Education 2/27

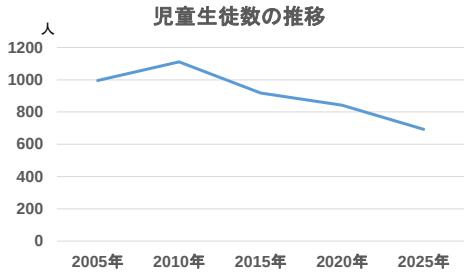
「令和8年度学校魅力化フォーラム」

本市の課題

垂水市の人口推移（2005年～2025年）

	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年
人口（人）	1.9万人	1.7万人	1.6万人	1.4万人	1.2万人
児童生徒（人）	995人	1111人	917人	843人	693人



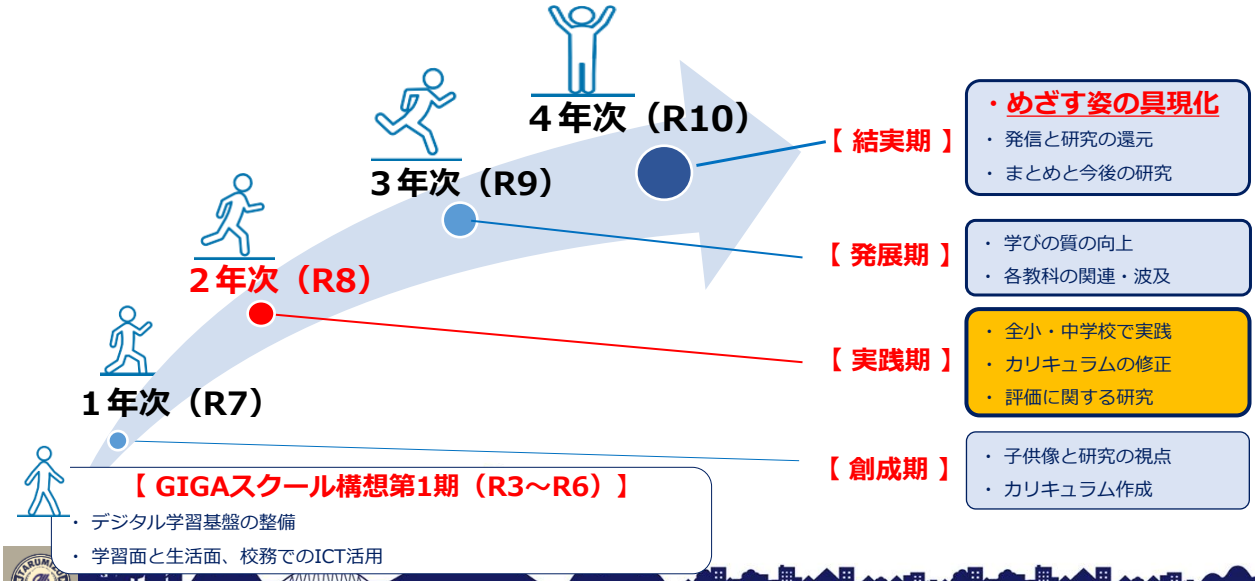


「統計たるみず」より

「令和8年度学校魅力化フォーラム」

研究開発学校

研究開発学校研究計画（R7~R10）



「令和8年度学校魅力化フォーラム」

研究開発学校

研究開発学校の指定について（R7～）

子供像

情報技術が飛躍的に発展する社会において、その特性を**正しく理解**し、**適切に取り扱う**ことで、多様な他者と**交流**したり、**協働**したりしながら**学びの質を高める**とともに、**ふるさと垂水の一員として参画意識を高める**子供

文部科学省「研究開発学校（情報活用能力の育成）」指定（R7～R10）

視点

(1) **義務教育９年間**で **情報活用能力を確実に育成**する。
(2)**「情報の時間」**で 情報技術等について**重点的に学ぶ**。
(3)**「ふるさと垂水」**で「情報の時間」の**学びを活用する**。

「令和8年度学校魅力化フォーラム」

1年次（R７）

情報活用能力を高める教育課程及び指導法の研究

体 系 表（小１～中３）

大分類	小分類	１年	２年
情報技術の①活用	a ICT機器の操作	・電源の操作 ・アカウント，パスワード入力 ・授業支援クラウドの基本操作（写真や絵の保存，トリミング，スクリーンショット，２次元コードの読み取り，写真や動画の撮影） ・かな文字やローマ字の基本入力	・タイピング練習アプリの活用 ・九九の学習，タイマーの活用 ・授業支援クラウドに写真や画像をアップロード ・写真をつなげ，簡単な動画作成 ・ピントをあわせて動画を撮影
	b 情報の収集	・身の回り事象を本や２次元コードを使って情報を収集 ・安全な環境下で、キーワード検索の初歩を体験	・身の回りの事象をデジタルデータとして記録・収集 ・安全な環境下で、キーワード検索して情報収集
	c 情報の整理・比較	・写真等を時系列で整理 ・収集した情報を比較して気づいたことを整理	・収集した情報を比較・分類し整理
	d 発信・伝達	・簡単なデジタル作品を制作（写真，文字） ・作品の意図や作品に込めた思いを相手に発信	・簡単なデジタル作品を制作（写真，文字，音声，動画，ビデオメッセージ等） ・相手の反応を確かめながら，作品の意図や作品に込めた思いを相手に伝達
	e 協働的な問題解決	・ペアやグループで，一つの作品を制作 ・自分の考えをもち，相手に伝達	・みんなで同時に一つの作品を制作（共同編集アプリ等） ・相手の意見を認め，自分の考えを伝達
	f 主体性・自己調整	・目的意識を持って，情報端末を進んで使用	・情報端末を使って，自分の考えを進んで表現 ・ルールを守って情報端末を学習で使用
	g 探究心・継続的な学習意欲	・身の回りのことに対する興味や疑問 ・ICT機器に触れ，楽しみながら操作	・身の回りのことに対して興味や疑問をもち，関係者等に質問
情報技術の②適切な取扱	a 情報モラルと法的理解	・健[illegible]情報端末を使用（姿勢，時間） ・パスワードは	・健[illegible]（姿
	b 協働・情報社会における倫理観	・ICT機器を友達と[illegible]	
情報技術の③特性の理解	a コンピュータの仕組み	・キーボードを押すとディスプレイに表示される「入力装置」と「出力装置」の関係を理解	[illegible]理解
	b 情報通信・ネットワーク	・授業中のICT機器が互いにつながっていることを理解	・有[illegible] ・UR
	c メディアの特徴	・メディアとは何かを体験的に理解（絵本・テレビ・新聞等）	・メ[illegible]うこ（同
	d プログラミング	・プログラミングを体験 ・アンプラグド教材を使って，人や物の動作をプログラミング（命令とその実行）	・ビ[illegible]・複
	e 生成AI	・生成AIがあることを理解	・生[illegible]解

学習計画（小１～中３）※下の例は小1

学期	単元名	時数	主な学習活動
１学期⑥	タブレットはぼく・わたしのぶんぼうぐ	1	電源の入れ方・切り方，丁寧な持ち運び方，机の上での置き場所を学ぶ。
	パシャッとはっけん！がっこうカメラたんけんたい	2	カメラの起動と静止画・動画の基本的な撮影操作を学ぶ。
	ならべてくらべてなにがわかる？	3	過去に撮影した朝顔の観察写真などをロイロノートで時系列に整理する。
２学期⑦	ロボットをうごかせ！めいれいゲーム	5	「命令」と「実行」の関係を知る。アンプラグド教材（カード）で説明を行う。
	AIってなあに？文字うちチャレンジ	2	先生の操作で生成AIに触れる（文章生成），「生成AI」という技術があることを知る。
３学期⑦	みんなでつくろう！学校のお気に入り	5	作品テーマ（お気に入りのもの）を決め，構成案を紙やタブレットで作成する。
	ひみつのカギとつながるせかい	2	パスワードは「自分だけの大事なもの」であることを理解し，大切に扱うこと（情報モラル）を再確認する。

※ **網掛け部分は、ミニ探究ユニット**

【 概 要 】
情報活用能力を
情報技術の
「①活用」
「②適切な取扱い」
「③特性の理解」の３つに分類・整理

【 活 用 】
全小・中学校の
指導計画の作成と
授業改善の指針

「令和8年度学校魅力化フォーラム」

2年次(R8) 学習計画の見直しの視点「体系表」

構成要素の見直し
- ○**小項目**
- ○**知識及び技能** と **思考力、判断力、表現力等**

ポイント
- ○**各学年で**設定
- ○**垂水らしさ**を加味



出典:教育課程部会 生活、総合的な学習・探究の時間WG 情報・技術WG(R7.11.10)

「令和8年度学校魅力化フォーラム」

2年次(R8) 学習計画の見直しの視点「情報の時間」

学習計画の見直し
- ○**「ミニ探究ユニット」の学習内容**
- ○**改訂を先取りした学習内容**

ポイント
- ○**学びの質**
- ○**企業等との連携**

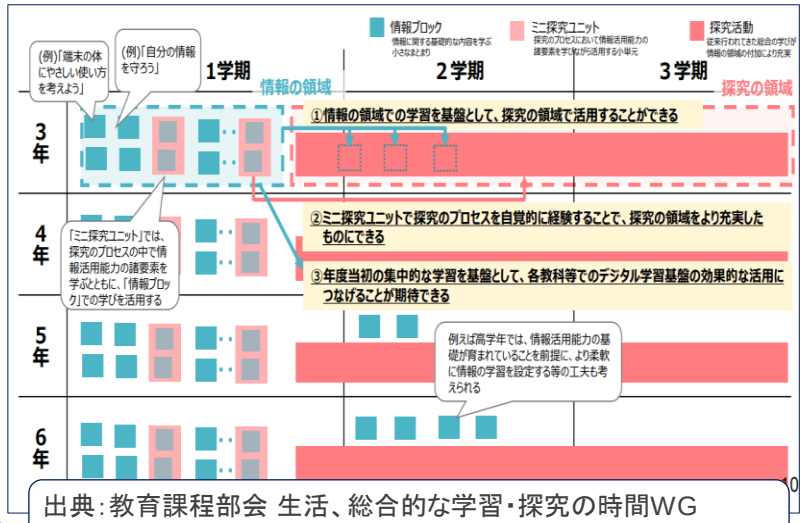


出典:教育課程部会 生活、総合的な学習・探究の時間WG 情報・技術WG(R7.11.10)

2年次(R8) 学習計画の見直しの視点「ふるさと垂水」

学習計画の見直し
- ○「情報の時間」との接続を意識
- ○ふるさとを見つめ、探究的に学ぶ内容

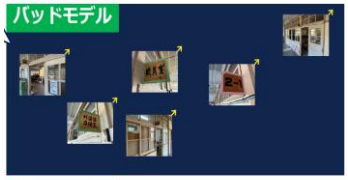
ポイント
- ○学びの質
- ○関係課・企業等との連携



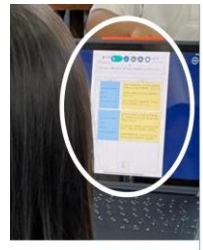
出典:教育課程部会 生活、総合的な学習・探究の時間WG
情報・技術WG(R7.11.10)

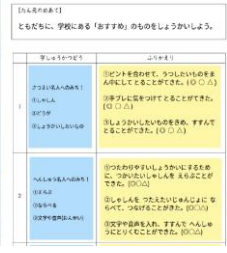
「令和8年度学校魅力化フォーラム」

垂水小学校 第２学年　情報の時間
「見つけた！気になることをカメラでパシャリ」









特色
- ・モデルを示して、撮影した写真の整理の仕方を考えさせる。
- ・**発達の段階に応じた振り返りを実施する。**

垂水小学校 第５学年　情報の時間
「正しい情報を探すスキル」



【驚愕】カンパチ生産量日本一の垂水市、ゴールデンウィークの「カンパチ祭り」を延期！原因はまさかの「中東・ホルムズ海峡の封鎖」

2026年4月5日 14:30 配信 | 南九州ニュース編集部

鹿児島県垂水市漁協は、毎年ゴールデンウィーク（GW）の恒例行事として全国からファンが集まる「垂水カンパチ祭り」の開催を延期すると発表した。

地元の特産品イベントが延期となる理由として挙がったのは、なんと地球の反対側で起きた「ホルムズ海峡の事実上の封鎖」である。この国際的な事態により日本国内



特色
- 適切な判断基準をもって、情報の信ぴょう性を判断する。
- **情報の正しさを考察する、批判的思考を高める。**

垂水小学校 第６学年　ふるさと垂水
「垂水市の未来を考えよう」

【 自ら決めたテーマに沿って探究し、市長へ提言 】



市長・副市長・教育長、関係課に、街づくりプランを提案



特色
- 情報の収集、整理・分析、まとめ・表現の**各過程でICTを活用する。**
- **子供の提言は、本市の施策立案の参考にする。**

垂水中央中学校 第３学年　ふるさと垂水
「ふるさと垂水の歴史や文化、キャリア形成に関する探究学習」





特色
- 個人で学習計画を立て、スプレッドシートで学習を振り返る。
- **計画に沿って制作及び発表準備をする。**

各校区の特色を生かし、生きてはたらく情報活用能力へ

防災かるた



棒おどり



桜島の火山灰の研究



シャワークライミング



たまねぎの収穫



カンパチの餌やり



振り返り

子供の学び

情報の時間の振り返り（垂水小学校６年生）



ノートに書くだけでは伝わらないことも、**画像やグラフをうまく使い**、調べたことや考えたことなどをスライドにまとめ、**分かりやすく発表**することができた。



みんなで力を合わせて学習できた。去年は、**端末の使い方**がうまくなかったけれど、**今年は使いこなすことができた**。これからも、**いろいろなことを学びたい**。

ふるさと垂水の振り返り（垂水小学校６年生）



垂水市のよさとこれからについて考えたことを、市長にグラフなどを使って説明したことが心に残った。**情報を集めたり発信したりすることが得意になった**。



垂水市にはたくさんの魅力があるけれど、心配な点もある。それをこれから調べて、**どんな課題があるのかを知り、自分たちにできることを探していきたい**。

振り返り

教員の実践

情報の時間の振り返り（垂水小学校　教員）



スライドなども**共同編集**によって、効率的に進められた。**伝えたい相手によってメディアを選択**することができるようになった。



多種多様なアプリケーションの中から最適なものを取捨選択して使用することができるようになってきている。

ふるさと垂水の振り返り（垂水小学校　教員）



ICTを効果的に活用して、プレゼンテーションを作成したり、映画を制作したりと**幅広い表現の仕方**を身に付けている。



将来、就きたい職業のことや、垂水市の魅力について詳しく調べるなど、**意欲的に学ぶ**ことができた。**日常的にICT機器をツールとして活用する意識をもたせたい**。

授業づくり

小規模校の授業（複式学級）

強みを生かす

「学習者主体の授業」の推進

↓

予習型反転学習に着目

弱みを補う

「他者の考えから学びを深める場面」の確保

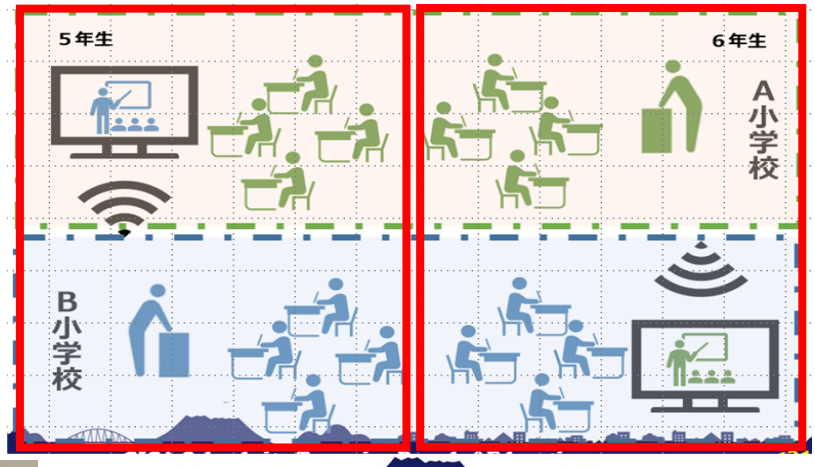
↓

遠隔合同学習　に着目

授業づくり

①遠隔合同授業について

テレビ会議を使用して他校と合同学習



ねらい

複式学級の「単式化」

【 子供 】
- ○学習意欲
- ○多様な他者との交流
- ○考えの広がりと深まり

【 教師 】
- ○単学年の指導

授業づくり

①遠隔合同授業





牛根小学校と松ケ崎小学校の国語の授業

授業づくり

①遠隔合同授業（他県と）



協和小学校（岐阜県と）



新城小学校（東京都と）

授業づくり

①遠隔合同授業（児童の感想）



自分の実験結果が**他の学校**の同級生の結果と一緒で**安心**した。
他の意見を聞いて**より理解が深まった**と思う。

より多くの結果から、自分の結果が正しいことが分かった。
また、多くの**同級生の意見**にふれられる遠隔合同授業を行いたい。



授業づくり

②予習型反転学習のモデル

★　授業と家庭学習をつなぎ、学びの場を反転させる学習スタイル

家庭

【 予習「自力解決」 】
・課題について調べたり、考えをまとめたりする。

・自分のペースで調べたり、考えたりできる。
・タブレット端末で、多様な学びが可能となる。

学校

【 授業「 展　開 」 】
・めあて（目標）を立て、学習の見通しをもつ。
・予習をもとに、友達と協働・学び合い

・他者と協働して学び合う時間をより確保できる。
小規模校は、他校との遠隔合同授業も効果的

【 授業「 終　末 」 】
・深めた学びをまとめ、授業を振り返る。
・ドリル等に取り組み、定着を図る。
・新たな問いをもつ。

・学習内容の定着を図る時間をより確保できる。
・学び方について振り返ることで、主体的な学習態度等が育つ。

家庭

【 予習「自力解決」 】
・課題について調べたり、考えをまとめたりする。

「令和8年度学校魅力化フォーラム」

垂水らしい教育ＤＸ

地域とつながる、他校とつながる

ようこそＩＣＴ教室へ！



心をつなぐオンライン交流



「令和8年度学校魅力化フォーラム」

成果と課題

成果

- **児童生徒のICT活用能力が向上した。**
- **授業でのICT活用の割合が増えた。**
- **業務改善**を進めることができた。
- 市内学校間での子供同士・教員同士のつながりが深まった。

数字は「ほぼしている」と回答した割合（%）

	調査内容	全国	鹿児島県	垂水市
1	電話等による欠席連絡受付	55.5	33.0	87.5
2	保護者へのアンケートのデジタル化	29.4	31.1	62.5
3	教職員アンケートのデジタル化	33.3	33.9	50.0
4	教職員が作成した教材等の保存	14.9	15.4	62.5
5	紙での行事日程・特別教室等の予約	15.6	16.8	50.0

GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト自己点検結果よりR8.3実施）

成果と課題

全国で高い評価

★令和７年度
「日本ICT教育アワード」
全国ICT教育首長協議会
文部科学大臣賞
（入賞はR4・R6の２回）

★令和７年度
「ICTコネクト21」教育DX
推進自治体表彰2025
（３回目）



成果と課題

課題と改善点

- **適切に指導し、適切に介入する**
  改善例：子供の学習状況に応じ、身に付けるべき学習内容を一斉指導
- **自立的な学びを支えるために端末を活用する**
  改善例：子供自ら学びを支える文房具として端末を使いこなすスキル
- **活動への目的意識・相手意識をもたせる**
  改善例：「なぜ、そのような方法をとるのか」等、目的意識の醸成


垂水らしい
教育DXの実現をめざして